

# 九州大学 大型計算機センターニュース

No. 75

1974. 5. 27

福岡市東区大字箱崎  
九州大学大型計算機センター  
共同利用掛(TEL 092-641-1101)  
内線 2256

## 目 次

◇利用者講習会開催のお知らせ	1
◇グラフィック・ディスプレイの利用について	2
◇試用期間を終えたライブラリプログラムに ついて	別刷

### ◇ 利用者講習会開催のお知らせ

TSSの講習会を下記の要領で開催しますので、受講希望者は下記の申し込み期間中に西利協事務局(TEL 641-1101 内線 2264)まで申し込んでください。

2回に分けて実施しますので希望者はどちらかに参加してください。

受付は申し込み順とし、定員になりしだい締め切らせていただきます。

### 記

- ・期 日 第1回 6月14日(金), 15日(土)  
第2回 6月21日(金), 22日(土)
- ・対 象 初心者(センター利用有資格者)
- ・参加人員 各回 30名
- ・会 場 センター5階 会議室
- ・テキスト 利用の手引 TSS編(各自持参)  
FACOM 230 M-V LINED入門編(持っていない方に対しては  
センターで用意します。)
- ・申し込み期間  
第1回 6月6日(木)~6月12日(水)  
第2回 6月13日(木)~6月19日(水)

・時間割

9:30				12:00 13:00			17:00
あ い さ つ	TSS入門	(キー操作 テープの作り方 コマンド リモートパッチ	昼 休 み	LINED BACCUS	} 入門	DFORTRAN	

9:00	実 習		13:00
------	-----	--	-------

◇ グラフィック・ディスプレイの利用について

1. 運用時間の変更について

現在 グラフィック・ディスプレイの運用時間は、毎週水曜日の9時～16時迄となっておりますが、5月31日(金)より毎週金曜日の9時～12時迄を追加いたします。従って グラフィック・ディスプレイの運用時間帯は、次のようになります。

水曜日 9時～16時

金曜日 9時～12時(5月31日より)

なお グラフィック・ジョブはリモート・パッチとして起動はしますが、その処理は会話型となりますので、TSSのデマンドXと同じ優先処理をしています。従ってグラフィック・ディスプレイジョブの処理中には、他の一般ジョブの処理に大きな支障を期たすことが予想されますので、大幅な時間を確保することが出来ません。今後 一般ジョブの件数、処理状況またグラフィック・ディスプレイの利用状況などを総合的に検討した上で、運用時間を再検討したいと思いますのでご了承下さい。

2. マクロ %GDLRUNについて

現在のパラメータに DATA=データ名, OUTPUT=PRINT を追加します。

マクロとパラメータの説明

<p>¥ GDLRUN</p>	<p>[NOLIST] [, LMAP] [, EBNAME = 実行形式プログラム名]                  [, STARTPROGRAM = 実行開始エレメント名]                  [, MACROSTEP = n] [, DATA = データ名] [, OUTPUT = PRINT]</p>
-----------------	---

パラメータの説明

パラメータ	記入したとき	省略したとき
NOLIST	LIEDのリストを出さずにエラーメッセージのみ出す	リストとエラーメッセージを出す
LMAP	作成された実行形式プログラムのコアマップを出す	コアマップを出さない
EBNAME = 実行形式プログラム名	指定の名前の実行形式プログラムを作成し実行する	実行形式プログラム名は GDEXQT となる
STARTPROGRAM = 実行開始エレメント名	指定した名前のエレメントより実行を開始する	PRG.MAIN となり主プログラムより実行が開始される
MACROSTEP = n	¥ GDLRUN を1ジョブで複数個使用するとき異なった番号を与える	番号は何もつかない
DATA = データ名	大記憶上に LIBE で作成したデータ名を指定する この時はカードの入力は出来ない	カードからデータを与えることが出来る
OUTPUT = PPINT	センターのラインプリンターに出力する	端局に出力する

試用期間を終えたライブラリプログラムについて

現在登録されている利用者提供ライブラリのうち、下記の場合は試用期間中としてテスト用ファイルに登録されていましたが、6ヶ月の試用期間を終えたため、6月3日(月)より通常のライブラリファイルに登録されますのでお知らせいたします。登録後、※印のライブラリはQS. PLIB. TESTのファイルより消去されますので、ご使用の際はご注意ください。

登録番号	I D コード	プログラム名	登録ファイル名
50	M2/QC/F/HENKAN	紙テープから読み込んだデータのコード変換プログラム	QS. PLIB. RB
64	Y4/QC/Z/AD05	CGTOについての分子積分	QS. ALIB. EB(MT)
※65	C3/QU/F/BETA	ベータ関数	QS. PLIB. RB
※66	C3/QU/F/FBET	不完全ベータ関数	"
※67	D2/QU/F/TRAMS	常微分方程式(きざみ幅自動調節台形則)	"
※68	F2/QC/F/TDBLS	三重対角行列の固有値 Bisection法	"
※69	F2/QC/F/TDBLD	"	"
※70	F2/QC/F/TDBUS	"	"
※71	F2/QC/F/TDBUD	"	"
※72	F2/QC/F/TDQRS	三重対角行列の固有値 QR法	"
※73	F2/QC/F/TDQRD	"	"
※74	F2/QC/F/SBTRS	実対称帯行列の三重対角化	"
※75	F2/QC/F/SBTRD	"	"
※76	F2/QC/F/SBVCS	実対称帯行列の固有ベクトル	"
※77	F2/QC/F/SBVCD	"	"
※78	F2/QC/F/SBRDS	$ABx = \lambda x$ タイプの固有値問題	"
※79	F2/QC/F/SBRDD	"	"
※80	F2/QU/F/SHQS	実対称行列の固有値・固有ベクトル QR法	"
※81	F2/QU/F/SHQD	"	"
※82	F2/QU/F/HHQOS	複素共役行列の固有値 QR法	"
※83	F2/QU/F/HHQOD	"	"
※84	F2/QU/F/HHQS	複素共役行列の固有値・固有ベクトル QR法	"
※85	F2/QU/F/HHQD	"	"
86	Y4/QC/Z/GMSCF	CGTOベースRoothaan SCFプログラム	QS. ALIB. EB(MT)
87	G6/QC/Z/PCAJCB	主成分分析(JACOB1法)	" ( " )
88	G6/QC/Z/PCAQR	主成分分析(QR法)	" ( " )
※89	D4/QC/F/DIFF/S	解析関数の数値微分	QS. PLIB. RB
※90	D4/QC/F/DIFF/D	"	"

なお、登録番号No.80, No.81, No.82, No.83, No.84, No.85のライブラリは既にQS. PLIB. RBに登録されている下記ライブラリのレベルアップされたものです。従つて、昭和50年4月/日以後はファイルより消去されますので、現在下記ライブラリをご使用の方はそれまでに新ライブラリの方に書き替えてください。

登録番号	I D コード	プログラム名	新ライブラリ
11	F2/QU/F/SQRS	実対称行列の固有値・固有ベクトル QR法	80 F2/QU/F/SHQS
12	F2/QU/F/SQRD	"	81 F2/QU/F/SHQD
30	F2/QU/F/SQROS	実対称行列の固有値 QR法	80 F2/QU/F/SHQS
31	F2/QU/F/SQROD	"	81 F2/QU/F/SHQD
32	F2/QU/F/HQROS	複素共役行列の固有値 QR法	82 F2/QU/F/HHQOS
33	F2/QU/F/HQROD	"	83 F2/QU/F/HHQOD
43	F2/QU/F/HQRS	複素共役行列の固有値・固有ベクトル QR法	84 F2/QU/F/HHQS
44	F2/QU/F/HQRD	"	85 F2/QU/F/HHQD